

平成23年度第10回看護学部教授会議事録

開催場所	302講義室	開催日時	平成24年1月11日(水) 16:00~18:15
出席者	(学部長) 吉田俊子 (教授) 安齋由貴子, 伊藤ひろ子, 遠藤芳子, 小野幸子, 荏部明彦, 桑名佳代子, 佐々木久美子, 塩野悦子, 関戸好子, 高橋方子, 高橋みや子, 武田淳子, 徳永恵子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 原玲子, 原田光子, MargaretChang, 真覚健, 峯岸直子, 山田嘉明, 弓谷行宏 (准教授) 桂晶子, 河原畑尚美, 北岡晃子, 佐藤ゆか, 鹿野裕美, 菅原よしえ, 高橋和子, 竹本由香里, 只浦寛子, 萩原潤, 山岸利次 (講師) 阿部幹佳 (助教) 阿部智美, 井口巴, 岩岡美樹, 大池真樹, 大沼珠美, 佐藤大介, 澤口利絵, 霜山真, 菅原亜希, 相馬衣都, 田中美江, 長岡芳久, 名古屋紘子, 西村亜希子, 橋本翼, 平尾由美子, 山田志枝, (55名中出席者52名) 事務部学務課 小山課長, 佐々木GL, 大津主幹, 吉川主査,		
欠席者	小松幸恵, 鈴木敦子, 渡邊志乃		(職位別50音順, 敬称略)
署名人	吉田俊子, 只浦寛子		
	議 事 内 容		
	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第9回教授会議事録の確認及び第10回教授会議事録署名人の指名について 第9回教授会議事録について諮られ承認された。続いて第10回教授会議事録署名人として只浦寛子准教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>①学部各委員会提出事項</p> <p>【教務委員会】</p> <p>○平成24年度開講科目の担当教員について 平成24年度開講科目のうち, 新たに授業科目を担当しようとするために専任教員から申請があったことについて, 教務委員会科目担当審査部会審査結果に基づき, 次のとおり科目担当教員とすることの提案がなされ, 審議の結果原案どおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学 萩原潤准教授(共担) ・代替療法 北岡晃子准教授(主担当) ・救急・災害看護論 菅原よしえ准教授(主担当) ・緩和ケア 菅原よしえ准教授(主担当), 河原畑尚美准教授(共担) <p>なお, 専門領域内科目である場合は届出によることとされていることから, 科目担当届出の提出があった5科目17名の科目担当教員についても併せて報告がなされた。</p> <p>○平成24年度以後の基礎ゼミの担当教員について これまで講師以上の専任教員としていた「基礎ゼミ」の担当教員について, 平成24年度以降は助教以上の専任教員が担当することとし, このうち助教については, 原則として担当年度開始時に本学で1年以上の勤務経験があるものとする提案がなされ, 審議の結果承認された。 ただし, 助教が担当する場合の運用方法は別途教務委員会で検討することとされた。</p> <p>○平成24年度のカリキュラム改正に伴う休学者等への開講保障について 審議に先立ち, 平成23年9月に文部科学省に申請した保健師・看護師学校変更承認申請が12月末に承認されたことの報告がなされた。 続いて, 平成24年度のカリキュラム改正に伴い, 平成23年度以前入学生で休学者等が発生した場合の開講保障の方法, 開講年次の特例措置について提案され, 審議の結果原案どおり承認された。</p> <p>【予算・財政委員会】</p> <p>○平成24年度当初予算要求について 平成24年度看護学部当初予算案として, 共通教育費, 実験実習費及び共通教育費それぞれの内訳及び金額等が説明され, 審議の結果原案どおり承認された。</p> <p>②看護学部臨床教授等の称号付与規程について 吉田学部長から, 臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とし, 平成24年度から臨床教授制度を導入すること及び臨床教授等の称号付与規程案等が示され, 次回教授会において最終審議することの説明がなされ, 意見が求められたが特になく, 規程案に対する意見を1月20日までに学部長あてに提出することとされた。 なお, 参考として他の公立看護大学の規定を調査し示すよう要望があった。</p>		

③平成23年度実績報告及び平成24年度計画について

学部の関係専門委員会が作成し、学部長及び副学部長により確認された今年度実績報告及び来年度計画が示され、意見があれば1月12日までに学部長あてに申し入れすることとされ、意見がなければ、今回提示された内容で理事長に提出することで承認された。

④その他

なし

(3) 報告事項

①学部長選考規程改正に伴う学部長候補者選出方法等について

平成23年12月21日の理事会において承認され、同日付けで施行された学部長選考規程及び大学院研究科長選考規程の改正概要並びに1月10日開催の理事会において承認された、現任学部長及び研究科長の任期短縮並びに看護学研究科長を兼務する看護学部長の設置と兼務する場合の学部の総意に関する付帯事項について吉田学部長から説明がなされ、看護学部長が看護学研究科長を兼務することに関しての意見が求められたところ、特に意見はなく、上記付帯事項に対する学部の申し出は行わないことが確認された。

その上で、吉田学部長から、学部長候補者を選出する教授会を2月8日開催の教授会とすることが示された。

なお、質疑により、被選挙者は看護学研究科所属の教授職にある者であること及び再任が妨げられない者に現学部長・研究科長も含まれることが確認された。

②人事について

吉田学部長から、次のことについて報告がなされた。

- ・老年看護学領域助教として平成24年4月1日付けで1名の採用が決定したこと。
- ・老年看護学領域の〇〇〇〇が3月31日をもって退職すること。

また後任人事については、1月の理事会に人事計画書を提出し、承認された後に公募を開始することとし、学部長以外の学部選考委員5名については、次のとおりとすること。

同一分野（3名）：〇〇〇〇，〇〇〇〇，〇〇〇〇

他分野（2名）：〇〇〇〇，〇〇〇〇

- ・教員の任期制による平成23年度再任審査について、看護学部では8名の対象者がいること、及び近日中に対象者に通知があり、学部等審査、人事委員会審査を経て、2月の理事会において決定されること。

③教育研究審議会報告

吉田学部長から、12月21日に開催された平成23年度第8回教育研究審議会の概要について報告がなされた。

④学部長・研究科長会議報告

吉田学部長から、12月14日に開催された平成23年度第8回学部長・研究科長会議の概要について報告がなされた。

⑤全学委員会報告

[学務入試委員会]

原玲子教授から、1月11日に開催された学務入試委員会の概要が報告された。

なお、平成24年度の学都仙台コンソーシアム遠隔授業への本学提供科目は看護学部から提供することとされており、真覚健教授が担当することの報告がなされた。

[共通教育運営委員会]

学務入試委員会報告に引き続き、原教授から平成25年度以降入学生を対象とした共通教育科目の見直しを行っていることの報告がなされた。

[施設有効活用検討委員会]

長澤治夫教授から、4階調理実習室をグループ演習室とすること、3階看護学研究科院生室と隣室のナーシング・ラボ5の隔壁を撤去し院生室を拡張すること等、12月21日に開催された教育研究審議会の資料「施設配置変更計画(案)配置図」により施設有効活用検討結果及び演習室等、3階、4階の使用を学部毎に区分していたこれまでの概念をなくす理事長方針についての報告がなされた。

また、吉田学部長から、ナーシング・ラボ5の用途変更に伴い、他のナーシング・ラボの有効活用を検討するためのワーキンググループを設けたことの報告がなされた。

なお、現在ナーシング・ラボ5を使用している精神看護学領域の教員から、物品撤去期限の確認と備品撤去に要する人員の確保についての意見があり、これらについては事務部施設担当者に確認することとされた。

⑥学部各委員会報告

[学生委員会]

前回教授会で報告のあった学生の道路交通法違反について、2月の教授会に当該学生の処分を提案することで調査・検討中であること、及び処分決定までの対応として、定期的に学生委員が面談すること等の報告がなされた。

[教務委員会]

原玲子教務委員長から、次のとおり報告がなされた。

- ・平成24年度総合実習及び卒業研究のシラバスが決定したこと。
なお、卒業研究シラバスについては、「研究テーマ」、「研究内容と方法」等を、1月31日を作成期限として、教授会後に対象教員にEメールで照会することが周知された。
- ・12名の任用を予定している平成24年度非常勤講師について、全員から内諾を得たこと。
- ・2年後期開講科目である栄養学において、これまで実施していた調理実習を今年度限りとし、平成24年度以降は実施しないこととしたこと。
- ・後期開講科目担当者に対し、授業評価を実施することの周知。

[キャリア開発委員会]

竹本由香里キャリア開発委員長から、次のことについて報告がなされた。

- ・平成23年12月15日現在における平成23年度卒業予定者の進路状況について。
- ・平成23年11月13日に行われた第2回保健師国家試験模擬試験の結果及び1月10日に行われた第3回保健師国家試験模擬試験の状況並びに疫学・統計、保健福祉行政論講座等、今後の保健師国家試験対策について。

[入学試験委員会]

真覚健入学試験委員長から、次のことについて報告等がなされた。

- ・1月14日の大学入試センター試験業務についての協力依頼と監督員業務における昨年度までの相違点に関する注意喚起。
- ・2月4日に予定されている「特別選抜・地域選抜」の指定地域、出願期間及び試験実施体制等についての説明。
- ・12月10日に実施した留学生を対象とした入学選抜試験の合否判定結果の報告。

[広報委員会]

高橋和子広報委員長から、次のことについて報告等がなされた。

- ・平成23年度看護学部公開講座実施報告として、10月22日と11月19日にそれぞれ開催された基礎看護学領域と精神看護学領域の公開講座の概要及び決算について。
- ・復興支援行事の一環として12月18日に本学で開催された復興支援シンポジウムにおいて、看護学部から塩野悦子教授が代表して発表されたこと。

⑦その他

- ・武田淳子教授から、復興支援費の執行状況と執行見込みを把握した上で、見込まれる執行残約400,000円の用途について予算・財政委員長と協議し、復興支援活動に有効活用するため、学生ボランティア活動費用に充当することとしたこと及び災害復興費で購入した物品は看護学部教材倉庫に保管するとともに、一覧表を作成し学内教員に周知することの説明がなされた。

(4) その他

吉田学部長から、次のことについて報告等がなされた。

- ・遠藤芳子教授、高橋和子准教授の2名を今年度評価委員とすること。
- ・文部科学省の補助事業「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」について、本学が応募していた「南三陸コミュニティ復興支援プロジェクト」が採択されたこと及び当該プロジェクトへの学内公募が行われること。
また、看護系大学協議会の「東日本大震災災害看護支援事業の災害看護支援金による事業助成」に応募した本学看護学部の2件の事業についても助成が決定されたこと。
- ・財団法人学生サポートセンターによる平成23年度学生ボランティア団体助成事業について、本学看護学部生によるボランティア団体への助成が決定し、1月末に表彰式が行われること。

以上

議事録署名人

氏名 吉田 俊子 印

氏名 只浦 寛子 印